

2021 年 5 月 20 日

都道府県柔道連盟（協会）

安全指導員 各 位

重大事故総合対策委員会

委員長 磯村 元信

（公印省略）

コロナ禍における重大事故防止の徹底について（通知）

平素より当連盟事業にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

関係の皆様におかれましては「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応について（通知）」に基づく感染防止に努めていることと存じます。しかしながら新型コロナウイルスの全国的な感染拡大のために緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用などにより、地域によって練習や試合等の実施状況に格差が生じていることが危惧されます。

こうした厳しい環境下で地方大会や全国大会の予選が行われ、それに伴って他校との合同練習、練習試合等の機会も増えるものと考えられます。競技活動が活気を取り戻すことは喜ばしいことではありますが、一方で、昨年後半から脳しんとうによる事故報告が急増しています。コロナ禍で練習のブランクや地域や学校ごとの練習量の格差が生じたための特徴的な傾向ではないかと危機感を強めています。新年度に入った5月～7月が重大事故の最も発生しやすい時期であり、コロナ禍と相まって重大事故の発生する確率が極めて高い期間に入っているものと考えられます。

こうした現状を踏まえ、以下のコロナ禍における重大事故防止の留意点にもとづいて感染防止と共に事故防止対策にも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。特に、子どもや柔道を始めたばかりの初心者には特段のご配慮をお願い申し上げます。

○コロナ禍における重大事故防止の留意点

- ・コロナ禍の練習不足等で、例年に比べて基礎体力や筋力、受け身が十分に備わっていない状況があり、頭部や頸部の重大事故の発生が危惧される。
- ・基礎体力や筋力、受け身が十分に備わっているかを把握して無理のない範囲で練習や試合を行わせる。特に、子どもや初心者の練習や試合には特段の配慮を徹底する。
- ・日常の練習の中で特に受け身の練習を例年以上に徹底する。

○初心者の重大事故防止の徹底事項

- ・初心者には少なくとも3ヶ月程度は高い位置からの投げ込みを行わせない。
特にこの時期は初心者に大外刈りの投げ込みを受けさせない。
- ・大外刈りの高い位置からの投げ込み（受の両脚が宙に浮くような投げ込み）、および投げ技の乱取りは少なくとも5ヶ月程度経過してからとする。

以 上